

学長2期目の主な取り組み (2018.4～)

- ：1期目に始めた事業
青字：1期目に行った内容、黒字：2期目における進展
(注) 1期目に完成した事業は掲載していません。
- ：2期目に開始した事業
- ★：他学ではあまり行われていない、独自のアイデアに基づくユニークな事業や先進的な事業

1. 教育

- ★ **入試改革：後期入試重視による偏差値トップ5の達成**
→【2期目】偏差値(河合塾) 1位～3位(後期)
- ★ **臨床英語日本一を目指した英語教育改革**
→【2期目】准教授、講師など教授以外の人材もnative speakerを登用
- ★ **海外や国内の有名研究機関での学生実習(リサーチクラークシップ)**
→【2期目】研修大学・機関の拡大
- **関西公立医科大学・医学部連合、関西公私立医科大学・医学部連合の結成：**
連合によって奈良医大単独ではなし得ない事業の達成、卒業試験の共通化等の検討
→【2期目】卒業試験の共通化の試み進展(試験的实施開始)
- **看護学科の充実(在宅看護学の創設等)**
→【2期目】成人看護学を急性期と慢性期に分離、慢性期教授職を新設、特定行為研修の充実
- ★ **大学祭の学外実施(イオンモールなど)**
→【2期目】継続実施(奈良医大健康フェア2018, 2019などを通じて地域との交流を積極的に展開)
- **THE世界大学ランキングのランク入りをめざす。**
→【2期目】2019年3月ランク入り達成、特に教育リソース分野で上位(1位東大、7位阪大、8位奈良医大と名古屋大、10位東工大)
- ★ **入学式や白衣授与式における保護者説明会等(保護者とのコミュニケーションの充実によるマッチング率の向上をめざして)**
→【2期目】保護者説明会の継続、医学科6年生の全保護者に対する学長書簡(卒後教育における奈良医大の魅力の伝達)内容の充実
- ★ **【2期目】医師・患者関係学講座開講**
- ★ **【2期目】ミシガン大学との連携協定締結に基づいた奈良医大ーミシガン大学連携コース設置による大学院教育の充実**
- **【2期目】ハーバード大学の医学教育部門と連携協定**

2. 研究

- **けいなんなRC(文科省・JSTの大型プロジェクト)にオーガナイザーとして参加し、各研究所と共同研究**
→【2期目】研究進展、産学連携が進展、文科省・JSTから高評価 参加企業増加、パイロット事業の伸展、3つのラボの完成
- **産総研、国循、WHOやけいはんな所在機関(ATRなど)等有力研究機関との連携**
→【2期目】WHOやNICT(情報通信研究機構)との共同研究進展
- ★ **研究の基本方針の制定(重点研究課題等)**
→【2期目】血栓止血研究センター設置：血栓止血先端医学講座、血栓止血医薬生物学共同研究講座(寄付講座)、血友病教育講座(寄付講座)、血栓止血分子病態学講座(寄付講座)IVR研究センター設置
- **優秀な研究者の育成支援、科研費獲得支援、若手・女性・医療スタッフの研究支援**
→【2期目】大学院支援15人、科研費獲得20件増、女性11件増(対前年比)
- ★ **【2期目】高井病院に陽子線癌治療研究センター設置**
- **【2期目】奈良先端大との研究内容マッチング、教授等教員の相互訪問(2019年1月～)**
奈良先端大との共同研究助成事業(2019年6月～)
- **【2期目】中谷医工計測技術振興財団から6000万円×5年の寄付講座獲得、世界的に有名な教授を招聘**

3. 診療

- ★ 全国から医師を集める制度（外科マスター、ドクターNなど）
 - 【2期目】継続発展、外科マスター医の増加
- 最終ディフェンスラインの役割
 - 【2期目】救急患者病院紹介回数4回以上の割合が2.5%に減少、乳腺センター設置、奈良県難病診療連携拠点病院に指定
- 救急災害医療
 - 【2期目】充実、DMAT隊チーム編成1チーム増加
- マッチング
 - 【2期目】奈良医大充足率95%（定員60人以上の大学病院では全国8位）、奈良県の充足率94%（全国4位）
- 【2期目】臨床研究中核病院を目指して、臨床研究センターの主任教授を選任
- 【2期目】糖尿病・内分泌内科学講座の設置決定
- ★ 【2期目】役員会に病院経営部会を設置（病院長との連携強化、部会メンバーである病院長を通じて理事長・役員の見解を病院経営に反映）

4. 総合

- ★ MBT構想（医学による日本創生モデル）の推進：国の省庁とのパイプ構築、民間活力の奈良医大への導入
 - 【2期目】MBTコンソーシアムメンバー企業・団体は100以上に増加、全国に広がるMBT（MBT東京大会、栃木県におけるMBTなど）、奈良医大発ベンチャーMBTリンク設立（全国医科大学中2番目のベンチャー設立）、MBTロゴマークの付与（医学論文内容の製品化、第1号としてめまい患者のためのマットレス発売）
- ★ 拡大奈良医大：相手先費用負担により橿原外に奈良医大連携大学院・研究所などを設置（国立循環器病研究センター、市立奈良病院、阪奈中央病院）
 - 【2期目】奈良医大東京キャンパス（小林理学研究所に連携大学院設置）、陽子線がん治療研究センター（奈良県、高井病院に連携大学院設置）
- 未来への飛躍基金：学生、教職員の能力を最大限に引き出すための各種施策に使用
 - 【2期目】1期目からの事業に加え、臨床研究中核病院のための資金援助
- 国際貢献：ベトナムへの医療援助協定
 - 【2期目】バックマイ病院のJICAプロジェクトの完成、プトラ大（マレーシア、クアラルンプール）とMBTに関する連携協定締結
- 学内広報の活性化
 - 【2期目】理事長・学長からのお知らせの学内一斉メール、学報における理事長・学長からのメッセージを継続、MBTニュースレターの創刊
- 女性活躍の推進
 - 【2期目】女性教員の登用促進 女性割合2014年→2019年
 医学部教員：74人(21.3%)→97人(25.4%)、医学科教員：45人(14.3%)→67人(19.4%)、
 附属病院医師（臨床研修医を除く）：115人(22.0%)→181人(26.9%)
- 【2期目】保育園の充実：総定員90名→150名に増加（公立医科大学・医学部中最大）
0歳児から2歳児までの保育室を備えた新館の完成、生後57日目からの保育可能
- 【2期目】ミシガン大学との連携協定締結（教育、研究、診療など包括的協定）

5. その他（法人経営、資質の発揮度等）

- ★ 外部評価のため有識者委員会の設置
 - 【2期目】東京で委員会を開催
- 積極的な情報発信、広報の充実（KCNテレビなど）
 - 【2期目】継続、MBTはマスメディアに取り上げられること90回以上
- 【2期目】働きがいのある職場作りとして、フレキシブルな勤務システムの導入（その日の勤務内容に応じて出退勤時間の変更可能）
- 【2期目】2018（平成30）年度の決算において、7000万円の黒字達成（年度当初予想は5億円の赤字）